議会だより Vol.181
令和8年11月1日発行
発行●川北町議会

かわきた







祭りがつなぐ、地域の絆

（中島地区 秋まつり）





●9月議会定例会 …… P2
●令和7年度決算 …… P4
●町政を問う …… P6
●視察研修 …… P10

川北町議会事務局 検索

9月議会

令和8年第5回(9月)
議会定例会
9月2日～15日(14日間)

提出議案等は16件

すべて原案通り全員賛成で可決しました。

この中から主なものをピックアップして紹介します。

専決処分の報告と承認

○一般会計補正予算の専決

温泉1号源泉の揚湯管破損等に対する復旧費用　1500万円



1号源泉(下先出地内)

一般会計　補正予算

○民生費

1号源泉ポンプ設備点検整備業務委託料　919万円

引き上げた1号源泉ポンプの点検・再整備を行うもの。

2号源泉物理検層調査業務委託料　217万円

令和7年3月より利用を休止している2号源泉の湯脈調査費

Q 1号源泉の復旧工事の内容と、現在のポンプの稼働状況はどうなっていますか?

A 揚湯管の損傷が主な原因で復旧工事とともに新しい予備ポンプを設置して稼働させており、営業を再開しています。
これまで使用していたポンプ（使用期間1年6ヶ月）は点検・整備を行い、今後は新たな予備ポンプとして再利用する予定です。

○衛生費

飼い主のいない猫の不妊・去勢支援　18万円

助成額　1頭　3000円

Q 誰に助成が行われますか?

A 野良猫を捕獲して不妊・去勢手術を行った、町民や動物愛護団体などが対象です。

Q 対象の猫が「飼い主のいない猫」である確認は?

A 申請者に誓約書を提出してもらうことで確認します。



草むらにいる猫

○消防費

熊本県宇城市などへの応急対策職員（罹災証明受付など）の派遣費用　120万円

○教育費

部活動地域展開（完全移行）に向けた措置

部活動地域展開推進事業指導者謝金　46万円

部活動地域展開広域連携負担金　100万円

野球部とソフトボール部が、令和8年度秋から能美川北広域連携クラブとして活動するための負担金

Q 野球部・ソフトボール部の活動場所や生徒の移動はどうなる？

A 能美市3学校と川北中学校が合同で活動。川北町や能美市のグラウンドで練習を行います。
生徒の移動については、保護者の送迎または自転車を基本とし、保険をかけて安全対策を講じています。

Q 今後の予算や財政負担の見通しはどうなる？

A 今回の計上額は最低限のものであり、来年度以降の指導者謝金などの増額や、国・県への補助金継続を働きかけていきます。

人事

○教育委員会 委員の任命

杉本　昌之　氏（ひばりタウン　再任）



任期　令和8年10月24日より4年間

工事請負契約の締結

7月議会 臨時会

○川北中学校体育館空調設備及びバリアフリー化改修工事

契約方法　指名競争入札
契約金額　一億一千二百七十五万円
契約の相手方　白山建設株式会社
代表取締役　田中　志人



川北中学校体育館

○第二町民体育館空調設備及びバリアフリー化改修工事

契約方法　指名競争入札
契約金額　一億六十五万円
契約の相手方　真柄建設株式会社
北陸事業部
執行役員事業部長
中川　稔



第二町民体育館

9月議会 臨時会

○農業集落排水事業（機能強化）上田子島地区処理施設整備工事

契約方法　指名競争入札
契約金額　五千六百二十一万円
契約の相手方　中島建設株式会社
代表取締役　中島　俊一



上田子島地区処理場

会Q&A

主なものをピックアップ

Q 北陸新幹線の償却資産（線路・車両分）の税額は。

A 線路は川北町の区間部分の約4730万円。車両分は、約610万円。併せて約5340万円です。



北陸新幹線（朝日地内）

Q 空き家解体補助金は、空き家になってから1年が経過しないと補助が受けられないのはなぜか。

A 一時的な不在等を考慮し、1年間を計画期間と設定。真に空き家となっているかを確認しています。

Q ふるさと納税と一般寄附金の違いは。

A ふるさと納税は、町外の方がポータルサイト等を利用。一般寄附は、町民や各種団体からの寄附金。7年度は、個人の多額寄附、町女性協議会解散に伴う寄附のため増加しています。



Q 簡易水道事業は純損失が続いている。持続可能な経営に向けた対応は。

A 水道料金の値上げが最も適切な対応だが、料金の低廉化は町の政策のため、簡単に値上げできない。また、老朽化した管路は耐用年数到来順の更新ではなく、修繕が必要な箇所を適切に対応しています。

Q 壱ツ屋地区消雪管延伸工事の事業時期と地元負担割合は。

A 事業期間は令和6年度から3年間です。

負担割合（分担金条例による）は、井戸5％・管路入替10％・管路新設等20％



消雪管工事

認定

令和７年度決算

決算委員

Q サンハイム三反田の現在の入居状況は。

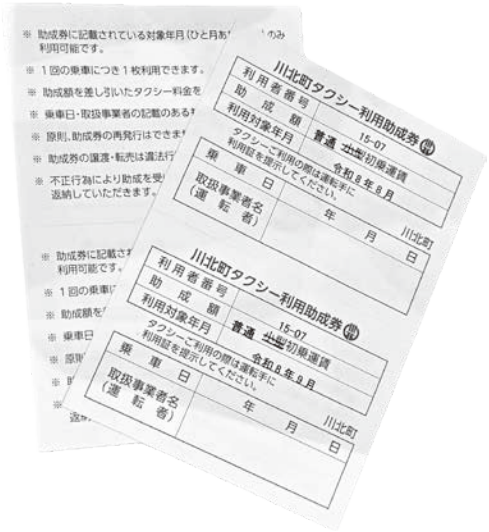
A 全38戸のうち32戸入居（３ＬＤＫ４戸、２ＬＤＫ28戸）しています。空室の２ＬＤＫはバリアフリー対応部屋となっています。



サンハイム三反田バリアフリー対応室内

Q 巡回バスの利用率は高くないのではないか？また、タクシー助成の初乗り料金では、病院への通院や近隣タクシー会社の減少を考慮すると補助額が不十分ではないか。

A 巡回バスは登録者全員が常時使うわけではないが、利用者は、買い物や美容院等で毎週定期利用や、目的に応じた利用をしています。タクシー助成は初乗り料金分を補助しており、実態を把握しながら来年度に向けて事業の改善を検討していきます。



Q こども食堂の対象は。誰でも利用できるのか。

A 親子のふれあいや子どもたちの交流のため、低所得世帯等に限定せず、制限は設けていません。毎回50食限定。（町内団体が実施）沢山の方が来場しています。



子ども食堂

Q 帯状疱疹の予防接種の対象は65歳のみか。

A 基本は65歳。制度開始に伴う５年間の経過措置として、70歳や75歳など節目の年齢の方も限定対象です。令和12年から65歳のみが対象です。

町政を問う！

9月議会定例会
一般質問

問 倒木・枝打ち対策は

答 土木課長 安全確保を最優先に



山田勝裕 議員

Q 近年、全国各地で倒木や枝落ちなどによる人的被害や車両への被害、交通障害等が報告されています。

本町では、例えば手取川河川敷の桜づつみは、台風シーズンを迎えるにあたって、風当たりは相当ではないかと思います。

指定の公園等での倒木対策は。

A 町の管理地における倒木や枝落ちへの対策については、「芝・樹木維持管理業務」により定期的な点検や状況に応じて「枝の切り落とし」や「養生」を実施しており、「桜づつみ」では、弱っている桜もあることから、今年度は、桜の木2本に栄養剤を注入し、現在、経過を観察しているところです。

豊かな緑の環境を保ちつつ、危険な樹木については、伐採も含めた対策を施し、今後とも安全確保を最優先に維持管理を実施していきます。



河川敷の桜づつみ

問 地震ハザードマップは

答 総務課長 必要があれば検討

Q 地震大国日本にあっては地震がいつ何時身近に起きうることだと覚悟しなければなりません。

災害対策として地震ハザードマップや、他にも地盤の強度を示す地盤ハザードマップもあるとのことです。自分の住む地域の地盤強度や地震ハザードを知る事は防災・減災の為にも必要なのではないかと思います。当局の地震対策にかかるハザードマップ作成は。

A 地震対策に係るハザードマップにつきましては、想定される震度分布図や建物の倒壊の危険度を地図上に示した「地震安心マップ」を平成22年に作成し、全戸配布しており、現在も町ホームページに掲載しています。

しかしながら、作成から15年以上が経過しており、当時の知見を基に作成されたものであることも踏まえ、新たなハザードマップの作成については、国や県などが、作成したものとの整合性を含め、必要があれば、検討していきます。



問 広域連携は

答 町　長 連携･協議を進める



田中秀夫 議員

Q これからは各市町が単独で課題解決に取り組むだけでなく、複数の自治体が連携し、共に取組んでいくことも重要ではないかとの思いから、社会的、経済的に一体性を有する圏内にある白山市・野々市市・川北町の2市1町において、昨年7月に「白山野々市川北議会議員協議会」を設立いたしました。

そして、今年2月に研修会を開催し「3市町の未来に希望が広がるまちづくり」をテーマに意見交換を交わし、7月の定期総会ではそこで出された意見を基に、各市町の首長の皆様と意見交換もさせて頂きました。

又、これからも2市1町の議会同士が対等な立場で連携し、発展させてまいりたいと考えていますが、行政側として今後、広域的なまちづくりと地域の持続的な発展を目指していく上で、連携・協議を進めていくための組織を立ち上げるなどの考えは。

A 公共施設の老朽化や防災・減災対策、そしてデジタル化の推進など、自治体をとり巻く、新たな需要は、多岐にわたっており、これらに柔軟かつ効果的に対応していくためには、更なる広域連携のあり方を模索していく時期に来ていると、考えてもおります。

新たな組織の立ち上げにつきましては、事務の効率性や財政負担、各市町の果たすべき役割分担などを慎重に見極める必要があり、既に、2市1町の一部事務組合がありますので、まずは、そこで連携・協議を進めていくのが肝要であると考えています。



3首長との意見交換（定期総会にて）



3市町議会議員による意見交換

問 消費税率引き下げに伴う影響は

答 町　長　適宜対応していく



中村勝巳 議員

Q 1点目は、食料品消費税率が1％へ引き下げられた際、本町の減収額は。

また、この財源縮小が、財政全体に与える影響は。

2点目は、歳入減少を見据え、中長期的な財源確保と歳出効率化等の対策は。

A 1点目は、粗い試算ですが地方消費税交付金で約2600万円、地方交付税は、約3400万円の減収です。

大きな影響があるのは当然ではありますが急に別の財源が湧いてくる訳ではありませんのでいざという時は、歳入では、基金からの繰入れや、歳出では、町独自施策の見直し、縮小も含め、適宜対応していきます。

2点目について、既存の行政サービスや事業内容の見直し・地方債の発行を最小限に抑えるとともに、更なる企業誘致にも努めるなど、新たな財源確保にも尽力します。



問 シャトルバス発着場の安全対策は

答 産業経済課長　更なる安全確保に努める

Q 昨年度以降のバイパス簡易歩道の安全対策や、混雑を分散させるための新たな改善策は。

A 今年度は、警備員を6名から、14名に増員し、シャトルバスの利用者とその他の人流を制御するなど、来場者の安全を最優先に措置を講じました。

来年度以降に向けても、関係機関との協議、検討を重ね、更なる安全の確保に努めていきます。



混雑するシャトルバス発着場

問 「介護予防モデル」の導入は

答 福祉課長　導入予定はない

Q 白山市の「認知機能把握と運動・栄養プログラムを組み合わせた介護予防モデル」を導入する考えは。

A 白山市で行っている「健康増進事業」の導入は考えておりません。

現在、「いきいき百歳体操」等の活動を行っている地域に、健康教育を実施しています。

また、「健康マージャン講座」や、「大人の塗り絵講座」など、高齢者が楽しく、集える場を提供することで、認知症やフレイル予防の推進をしています。

問 概算金額の事前周知は

答 産業経済課長 問い合わせがあれば説明

Q 水道の管路の地区分担金について、各地区に、概算金額を知らせることと、その金額を準備するための期間を設ける必要があるのでは。

A 施設整備或いは管路更新を実施する場合の地区分担金につきましては、これまで通り問い合わせをいただければ、地区に対して事前に概算金額等をご説明していきます。



山村秀俊 議員



問 下水道管路の地区負担は

答 産業経済課長 事業費の一割を負担

Q 下水道の管路の地区分担金の有無は。

A 本町はこれまで、地区・地域単位で簡易水道事業や農業集落排水事業の整備を進めてきた経緯がございます。

それを踏まえ、「地区間の公平性」や「事業の透明性」を保ち、事業内容等について地域の皆様にご理解をいただいた上で、事業費の一割を地区分担金としてお願いしています。

問 コミュニティプラントの地区負担は

答 産業経済課長 事業費の一割を負担

Q コミュニティプラントは、2年後にはグリーンタウン地区が、耐用年数30年を超え、その後6年以内に、なでしこタウン、けやきタウンと、順次、超過地区が出てきます。

コミュニティプラントの地区分担金の有無は。

A これまで実績はございませんが、今後は、「地区間の公平性」や「事業の透明性」の観点から、農業集落排水処理施設の機能強化工事と同様に事業費の1割を地区負担としてお願いします。



グリーンタウン川北下水処理施設

視察研修

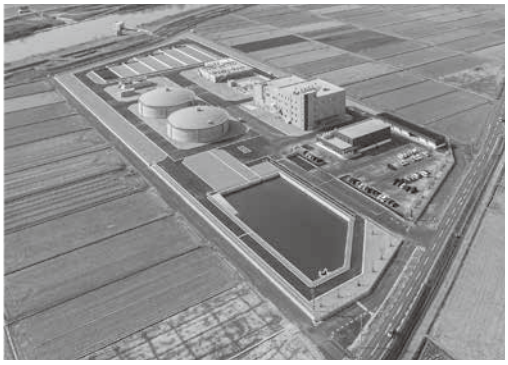
持続可能な水道事業に向けて

新潟県 燕市・弥彦村 広域水道事業に学ぶ　令和8年9月29日

総務産業常任委員会

燕市・弥彦村 統合浄水場

燕市と弥彦村は、浄水場の老朽化や将来の水需要の減少という共通の課題を抱えていました。そこで、平成31年4月に水道事業を統合し、既存の4つの浄水場を統廃合。共同で「燕市・弥彦村統合浄水場」を整備し、令和7年4月から本格稼働しています。



燕市・弥彦村統合浄水場

水道事業統合の効果

浄水機能を集約することで施設の維持管理コストを削減できること、老朽施設の更新に国の交付金を活用できること、組織を一元化することで災害や断水など緊急時の対応力を高められることなど、広域化による効果について説明を受けました。

また、事業を統合することで経営基盤を強化し、将来の施設更新に必要な財源を確保することも重要な目的となっています。

適正な料金水準の考え方

水道事業は、原則として料金収入によって事業を運営する公営企業です。事業収支の黒字維持、施設の更新や耐震化、企業債の償還など、将来必要となる費用も含め、料金収入で全て賄える健全な独立採算制を基本としている。

現在の水道料金は1㎥当たり131円で、地区分担金制度はない。財政シミュレーションにより、現在の料金収入のみで健全な経営を持続できることを確認しているとのことです。

料金水準の見直しは、今後の人口や水需要、物価、金利などの状況変化を踏まえ、必要に応じて行っていくとのことでした。

川北町の持続可能な水道事業に向けて

川北町の水道料金は1㎥当たり60～78円と比較的安価ですが、事業収支は赤字で、不足分を一般会計からの繰入金に頼っている状況です。また、施設更新の財源として地区分担金を徴収していますが、今後増加する老朽施設の更新費用を考えると、財源は十分とは言えないのでは。

令和8年3月に策定された水道事業経営戦略でも、耐用年数を超える管路が今後増加することから、計画的な更新と財源確保が必要とされています。

今回の視察を通じて感じたのは、「今の水道を維持する」だけではなく、将来の人口や水需要、施設更新費用まで見据え、どのような経営形態が川北町に適しているのかを早い段階から検討する必要があるのではないか。



膜ろ過施設

安全・安心な水道を将来にわたって守るため、公平な住民負担の見直し、広域化や施設の集約、経営の合理化など、川北町に適した持続可能な水道事業のあり方を検討していきたいと思います。

総務産業常任委員長　宮崎　稔

教育民生常任委員会

健康推進施策と子育て支援施策について

新潟県 津南町　令和８年９月28日

教育民生委員会の県外視察は、新潟県津南町に伺い、テーマは、「健康推進施策」と「子育て支援施策」についてでした。津南町では、住民の健康づくり事業として、「つなん健康ポイント」を推進し、健康診断受診や町が対象とする事業やイベントに対してポイントを付与し、町の共通商品券を授与するという施策でした。

健康づくりをポイント制により商品券授与というアイデアは本町でも活用できるように思いました。

また、子育て支援施策では、子育て支援センターの運営により、一時保育事業の充実など、子育て世代への支援を専門スタッフを４名配置するなど手厚い施策を実施していました。他にも高校生の通学費補助制度では、１万円を超える月額定期代を全額補助する予算措置でした。

そして、人口減少が急速に進行する地にあって、小中学校、保育所の統廃合を余儀なくされ、15年以上かけて、きめ細やかな計画と住民の相互理解を経て７小学校を３つに、５保育所を１つに統合する厳しいプロセスと成果を研修することができました。これらは、他人事ではなく、本町にも共通した課題であると認識し、これからの町の運営に参考にしたいと思います。

教育民生常任委員長　山田　勝裕



津南町役場



議会運営委員会

復興公営住宅の視察研修を終えて

穴水町　令和８年７月13日

能登半島地震や豪雨災害で大きな被害を受けた穴水町へ、復興の進捗状況の視察を行いました。



被災地の説明を受ける

穴水町では、災害公営住宅を２０２８年度までに２３２戸整備する予定で、今回ようやく上野地区にて、１ＤＫ～３ＤＫの３タイプ３階建て２棟、50戸が完成しました。大変きれいで集会所も併設され、９月８日から入居が始まったようです。

この公営住宅は、建設費には自治体側にも４分の１程度の負担があり、家賃は３年間無償とされるものの、その後は自治体が維持管理や家賃徴収を担うことになります。また、災害公営住宅の立地場所の選定にも地域住民の要望に添えない難しさがあるように感じました。

これまで通り、集落に住んでいる人がいる限りサポートは続けるが、上下水道などのインフラ整備も困難を極めているようでした。

また、既存集落の周辺に宅地造成を行ったところ、若い世代が入居しましたが、中心部は空洞化の心配もあります。

一度大きな災害が発生すると、住民に対するきめ細かな支援の必要性は勿論のことであるが故に、行政側が直面する課題の複雑さと難しさを改めて痛感しました。

議会運営委員長　田中　秀夫



復興公営住宅

NEXT みんなの広場

みんなの広場 ズームイン!

川北町で頑張っている人

中村　一美さん（橘）
Flower Moon（経絡調整セラピスト）




手のツボ


足のツボ

●お仕事紹介！

「経絡調整セラピスト」、聞き慣れない言葉ですが、東洋医学では身体の内臓と繋がりエネルギーを運ぶ「経絡」という道があって、その流れを整える施術を言います。

その「経絡」の流れが滞ると【肩こり・頭痛・目の疲れ・むくみ・腰痛・冷え・ストレス・疲労感等】など身体の不調となって表れます。大きな病気に変わらないうちに、この流れを調整するお手伝いをさせて頂いています。「フット・ハンド・ヘッドセラピー」等を活用した施術も技法のひとつです。

高齢者施設へ出向き施術をさせて頂いたり、町外のイベントにも参加しています。



自宅横の「Flower Moon」

●川北町への思い！

空気と水が綺麗で、白山連峰が見渡せる橘区に越して35年。子供達も川北町で生まれ育ち、今は県外に居ますが、帰省して来ると「やっぱり此処は、ゆっくりのんびりしとって‥本当に良いなぁ」と口々に話します。

いつまでも変わらずにあって欲しい我が町の風景です。

●川北町への要望！

川北温泉にリラクゼーションが行える場所があると嬉しいです。軽く身体を動かす事で一日の疲れを軽減させてリフレッシュ出来る。

温泉との相乗効果も抜群！お風呂に来たついでに…なんて良いなぁ。

利用者同士の交流にも繋がりそう。

●川北町へのお願い！

セラピー中に「巡回バス不便なんや。ちょっとの用事で朝一番に役場に行くけど、昼過ぎても家に帰って来られん。」など、耳にしました。

もう少し巡回バスが利用しやすいように、改善をお願いします。

●取材後記

年齢を重ねるごとに、体の至る箇所が悲鳴を上げてきます。今回は、身体の経絡やツボを刺激して、身体をリラックスさせるちょっと聞き慣れない「経絡調整セラピー」ということで、興味津々で取材に伺いました。

「心も身体もリラックス」という上り旗のもと、沢山の方がリラクゼーションやコンディショニング調整に訪れ、健康が増進されることを期待しています。

取材者：中村　勝巳

議会を傍聴しましょう◆ 次回の定例会は12月です。お気軽にお越しください。

議会一般質問をYouTubeで配信中

お問い合わせは、川北町議会事務局まで
直通（ダイヤルイン）☎076（277）1109

編集後記

サンスポ大会で素晴らしい演奏を奏でた遊学館吹奏楽部の保護者の方に「ご苦労したことはありますか？」とお聞きしたところ「大変な事はありますが毎回の演奏を楽しみに子供達の追っかけをして楽しんでます」と笑顔で答えてくれた方や指導者への感謝の気持ちをお話してくれる方もいらっしゃいました。

指導者と生徒の絆…
親子の絆…
保護者の指導者への信頼
この関係があるからこそ素晴らしい演奏が生まれるのだと思います！

山先謙二郎

広報編集特別委員会

委員長　中村　勝巳
副委員長　山先謙二郎
委員　井波　秀俊
山村　秀俊
林　幸雄

〒923-1295 石川県能美郡川北町字壱ツ屋174番地　☎076（277）1109
責任者／議長 西田　時雄
編　集／議会広報編集特別委員会